

2015 年度 A O 入試課題(経済学部・B 方式)

課題の作成に当たっては別紙の注意事項に従い、作成してください。

課題

(1) 次の課題文をよく読んで、以下の問いに答えなさい。

課題文 橋木 俊詔「家計からみる日本経済」 岩波新書 p26-40

課題文では、戦後を 5 時期に分けてあるが、それぞれの時期における家計の消費パターンを 1200 字以内でまとめなさい。

(2) 最近のアベノミクス経済政策では、「民間投資を喚起する成長戦略」によって、日本経済を再び成長経路に戻すことを目指している。800 字以内で、今後成長が期待されるとあなたが考える産業あるいは分野を挙げ、その理由も述べなさい。

作成上の注意事項

課題を作成するに当たっては以下の注意事項を守って作成してください。注意事項は裏面にもあります。

全体を通して

1. 作成に当たってはレポート用紙への記入は「手書き」でも「ワープロで作成したもの」を貼り付ける」のどちらでもかまいません。ワープロで作成した文書をプリントアウトして貼り付ける場合は、はがれないようにしっかりとのり付けしてください。
2. 課題に取り組む際には、インターネットや新聞・雑誌・本などで課題文にある内容やさまざまな産業・分野について調べてください。ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。あくまでも自分の言葉で書いてください。

課題に関して

3. (1) の課題については、課題文の指定された内容について 1200 字以内にまとめてください。単なる書き写しではなく、できるだけ自分の言葉でまとめてください。
4. (2) の課題については、さまざまな産業・分野について調べ、設問に対するあなたの考えを 800 字以内でまとめてください。この設問に対する解答は一つだけではありません。自由な発想であなたが考えたアイデアとその理由をまとめてください。
5. 課題の内容はゼミナールで 10 分程度、他のエントリー者の前で報告してもらいます。その準備を行ってください。
6. 課題を行うに当たって用いた資料を参考文献欄に必ず記入してください。記入の仕方は以下の通りです。

(新聞の場合)『北海道新聞』2009年12月31日付朝刊

(図書の場合) 平澤亨輔ほか著、「拓銀破綻後の北海道経済：地域再生と金融の役割」,

日本経済評論社,2008年

(教科書の場合)「政治・経済」,三省堂

(HPの場合) 環境省「環境経済成長ビジョン～チャレンジ 25 を通じた経済成長～」

<http://www.env.go.jp> (ホームページアドレスは”…….jp”までを記入すること)

課題に関する質問の受付

7. 課題に関して質問がある場合、一度だけ受け付けます。レポート課題について、教員への直接問い合わせたい場合は、9月16日(水)から9月19日(土)までの期間に下記のメールアドレスから質問をしてください。なお、問い合わせ方法は、メールのみとします。件名欄に「課題の質問」として、本文に質問内容を記入してください。

問い合わせ先 : htaka@sgu.ac.jp

※経済学部の高橋が対応します。大学研究室のパソコンで使っているアドレスです。携帯電話からのメールの場合、パソコンからのメール受信を拒否する設定をしていると、高橋からのメールを受信できませんので設定を変更してください。